



田川市政は、今

vol.
-4-

本市は、田川再生のための4本柱と、移住・定住の促進に向けた4つの重要施策に力を入れています。着実に前進を続ける市政の今をみなさんに伝えるため、定期的に情報を発信します。今回は「美しい街づくり」「新産業の創出」「共生社会」をピックアップします。

田川再生のための4本柱

美しい街づくり

新産業の創出

教育改革

子育て支援

PICTURE

大学生が市内いっせい清掃へ

福岡県立大学のボランティアセンター関係者と学生有志など10人が、市内いっせい清掃に参加。大学周辺を歩いてごみを拾いました。これを機に、同センターでは学生に対して、今後の清掃活動にも参加できるよう働きかけをする予定で、美しい街づくりへの機運が高まっています。



▲茂みの中にゴミを発見！隠れたゴミも見逃しません

移住・定住促進／重要施策

コンパクトシティ・プラス・ネットワーク

スマートウェルネスシティ

共生社会

防災体制強化

PICTURE

バリアフリーマスタープラン策定

共生社会の実現に向けた取り組みの一環として「田川市バリアフリーマスタープラン」を策定。バリアフリーの現状や課題、基本理念、ハード面・ソフト面の推進方法などのほか、市民・事業者・行政それぞれの役割と連携の重要性などを示し、バリアフリー化に向けた意識の醸成を図ります。

田川市バリアフリーマスタープラン



バリアフリーマスタープラン策定にあたり、市民が車いすや白杖はくじょうを使って「まち歩き点検」や、市民アンケート調査を実施。市民目線で市内におけるバリアフリーの現状と課題を整理しました。



NEWS 市政のうごき

グリーンケミー株式会社が進出

～地元企業と連携して災害備蓄用保存食品を製造～

①

防災備蓄用の保存食品などを製造する「株式会社グリーンケミー」（東京都）が本市に進出し、新たに田川工場（大字伊田）の操業を開始しました。同社は防衛省や外務省などの省庁のほか、大阪府や福岡県など84自治体、空港、医療機関、学校などに製品を納入しており、田川工場では防災商品（5年・7年・10年の長期保存食品）を製造。田川工場で製造された一部商品のパッケージには、市マスコットキャラクターの「たがたん」が印刷されています。原材料の調達など地元企業と連携した製品づくりに取り組んでおり、今後の雇用創出を含めた地域経済への波及効果が期待されます。5月20日に行われた開所式では、田中睦美社長が「地震や水害など何が起こるかわからない時代の中で、最小限の被害で済むよう防災食という形で尽力できればと考えています」と話しました。



②



③



①田川工場の玄関前でテープカット②宝保育園の園児が力強い太鼓で祝福しました③開所式のあいさつで思いを述べる田中社長

田川再生のための4本柱・新産業の創出